

市議会だより

# かいなん



社交ダンスサークル(中央公民館)



No. **58**  
2019.8.1

6  
月  
定  
例  
会

可決した主な議案	2
補正予算	5
議案の審議結果	6
一般質問	8
政務活動費収支報告	14

## 6月 定例会

令和元年海南市議会6月定例会は、6月13日から7月4日までの22日間の会期で開かれました。

この議会には、市長から条例の制定・改廃や補正予算、人事案件など議案25件が提出され、それぞれ可決、同意、承認しました。

## 海南下津高 惜しまれつつ閉校へ

議案第72号 海南市立海南下津高等学校条例を廃止する条例

入学生の定員割れの状態が続いていた市立海南下津高等学校については、学校の在り方などについてさまざまな協議や検討が行われた結果、令和5年度末をもって閉校とします。

### こんな質問がありました

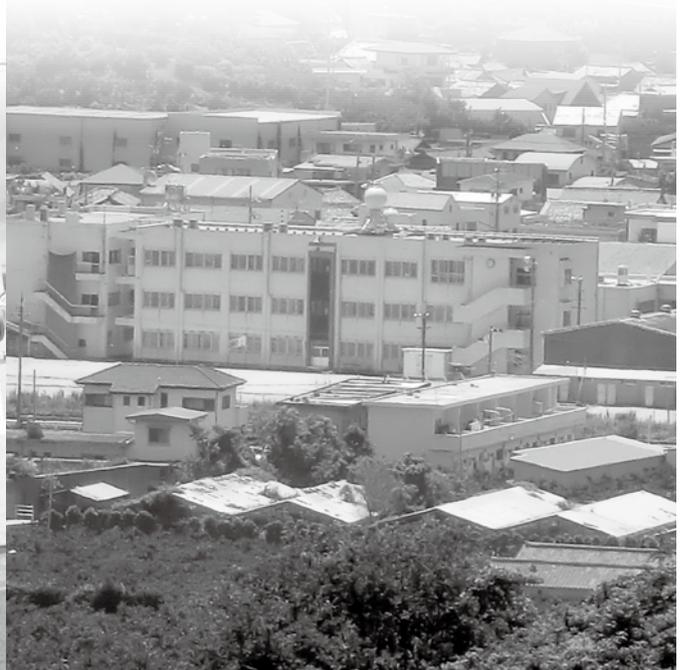
**問：**平成30年11月に審議会に諮問され、翌年の3月には答申されている。なぜもう少し早く検討してこなかったのか。また、学校運営経費の市の負担分約1億円とは、国の負担金を除いたものか。

**答：**学校の在り方についての検討は、同校開校5年を経過した平成24年度から継続的に行ってきた経過がある。また、審議会では、前身の海南市高等学校と下津女子高等学校の統合後の状況などを各委員に丁寧に説明を行った上で、5カ月間で6回、1回に2、3時間かけて濃密な審議を行っていた。

また、学校運営費のうち、授業料等約1,500万円と国の地方交付税を約1億円と試算して除いた約1億円が市の負担分である。

**問：**現在の1年生が休学等した場合を考慮して、令和5年度まで学校を存続させるのは良いが、来年度、再来年度も入学者募集をすることについては問題があると思うが、どうか。

**答：**教育委員会においてさまざまな検討を行った結果、最終的には、閉校を知らずに本年度に入学した生徒には2年間の休学を保障すべきであり、本年度入学生が3年生になったときに下級生が2学年そろっていることが教育的観点から望ましいと判断したところである。なお、来年度、再来年度の入学生には、学校が令和5年度末で閉校することを十分説明して募集を行った上で、休学できる期間が短くなるので、最大限の支援をしていきたい。



## 庁舎跡地に海南市民交流施設を設置

議案第 64 号 海南市民交流施設条例

中心市街地の活性化とにぎわいの創出のため、旧市庁舎跡地に、海南図書館をはじめとし、貸館機能や子育て支援機能を持つ文化施設として海南市民交流施設を設置します。(来年4月開館予定)

また、設置に伴い、海南市児童図書館と市民会館を廃止し、中央公民館は海南保健福祉センター内へ移転します。

### 施設使用料の一例

多目的室 【通常利用(※1)の場合】	土・日・祝	1区分(※2)につき 4,800円
	平日	1時間につき 1,200円

※1…グランドピアノ、レーザー光源プロジェクター、スクリーン又はスポットライトを利用しない場合です。

※2…午前9時から午後1時まで、午後1時から午後5時まで、午後5時から午後9時までがそれぞれ1区分となります。



### こんな質問がありました

**問：**市民交流施設、中央公民館、海南保健福祉センターの関わり方について、例えば、中央公民館長に海南保健福祉センターの貸館機能の統括をお願いすることなどを検討しているのか。

**答：**それぞれは異なる役割を担うと考えることから、現在そのような検討はしていない。今後、それぞれの設置目的を踏まえ、市民の方々の意見を聴きながら、利用しやすいような調整をしていきたい。

**問：**中央公民館の具体的な場所は。

**答：**海南保健福祉センターの正面玄関を入れて右側の、現在、社会福祉協議会のボランティアハウスがあるところに移転する予定である。

## 市民交流センター使用料の見直し

議案第 68 号 海南市民交流センター条例の一部を改正する条例

海南市民交流施設の設置に当たり、令和2年4月以降の海南市民交流センターの使用料が見直されます。

なお、改正後のホール等の使用料には、マイクなど一部の備品や冷暖房設備の使用料も含まれます。ただし、グランドピアノなど特別な備品を使用する場合には、今までどおり、別途使用料が必要となります。



### 施設使用料の一例

施設名	改正後	改正前			
		9:00~12:00	13:00~17:00	18:00~22:00	
ふれあいホール 【舞台・ホール利用の場合】	土・日・祝	1区分(※)につき10,000円	13,200円	19,800円	19,800円
	平日	1時間につき2,000円	11,000円	16,500円	16,500円

※午前9時から午後1時まで、午後1時から午後5時まで、午後5時から午後10時までがそれぞれ1区分となります。

## 企業誘致を積極的に支援

議案第65号 海南市企業立地促進条例

産業振興と雇用促進を目的として、市内に製造業などの対象施設の新設や増設等を行う企業が一定の要件を満たす場合に助成金を交付します。

### 助成金の種類

#### ①企業立地促進助成金

新設等に伴い取得した事業用地等に対する固定資産税及び都市計画税の税額を上限に、3年間助成

#### ②雇用促進助成金

新規地元雇用者数等に応じ、初年度のみ4千万円まで助成

### こんな質問がありました

問：条例制定に至った経緯は。

答：人口減少が進む中で、雇用を望む声も多くあり、また、事業規模拡大に係る相談も増えてきている。さらに、本年3月に関西電力海南発電所の廃止が公表され、地域経済への影響が懸念される状況となっている。企業誘致を進めるに当たって、市独自の施策が必要との指摘もあり、条例制定を提案するに至った。

問：事業のPRはどのように行うのか。

答：市のホームページのほか、チラシにより市内の商工会議所や商工会、金融機関等へ周知を行う。また、県等と連携する中で、誘致を希望する企業の情報を収集・共有し、積極的な企業誘致につなげたい。



## 消防ポンプ車を更新整備

議案第79号、第80号 財産の取得

消防体制の充実強化のため、老朽化した消防本部、黒江分団及び巽分団（阪井）の消防ポンプ車両を新しく購入します。

### 車両の種類と購入金額

#### ①消防本部用車両

消防ポンプ自動車 1台 4,806万円

#### ②消防団車両

消防ポンプ自動車 2台 合計3,736万8千円

(いずれも条件付一般競争入札で落札した有限会社和歌山防火協会から購入)



消防本部用と同型の車両

## 補正予算 とは

当初予算の調製後に、著しい社会情勢の変化や、突発的な自然災害などに対応するために編成する予算のことです。当初予算と同様に議会の議決を要し、歳出の増額に当たっては財源等も確認するなど、適正であるかを総合的に審議します。

令和元年度補正予算で行われる事業の一部を紹介します。

### 幼児教育・保育無償化に伴うシステム改修

1,219万円

国の方針として本年10月以降に予定している幼児教育・保育の無償化に向け、関連システムの改修を行います。



#### こんな質問がありました

**問：**現在、保育所等の給食費の徴収はどのようになっているのか。

**答：**3歳から5歳児の副食費は保育料の中に含まれ、主食費は実費徴収している。

**問：**減免で保育料が低かった方は給食費の実費徴収で逆に負担増となることがあるが、そのことへの配慮は。

**答：**法改正により、3歳から5歳児と、0歳から2歳児の住民税非課税世帯の園児を対象に、10月以降の保育料が無償化されるが、給食費などは実費徴収とされている。本市では、独自の新たな子育て支援策として、国の無償化の対象外となる3歳から5歳児までの給食費の無償化について、前向きに検討する。

### プレミアム付商品券 10月から販売

2億9,588万円

低所得者や子育て世帯を対象に発行するプレミアム付商品券の販売を、本年10月1日から開始します。

対象者の方は、購入引換券1枚につき券面額5千円分（500円券の10枚つづり、販売価格は4千円）の商品券を5冊まで購入できます。対象者の方へのお知らせは順次発送予定です。

#### こんな質問がありました

**問：**住民税非課税で、かつ3歳未満の子どもがいる場合はどうなるのか。

**答：**両方の要件に合致すれば両方とも対象になる。例えば、世帯主と配偶者及び3歳未満の子ども2人で構成され、かつ世帯全員が住民税非課税である世帯には、非課税分で4枚、子育て世帯分で2枚、計6枚の購入引換券が送付されることになる。



## 議案の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第1号	専決処分事項の報告（海南省税条例等の一部を改正する条例）	全会一致で承認
報告第2号	専決処分事項の報告（海南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	賛成多数で承認
報告第3号	専決処分事項の報告（海南省介護保険条例の一部を改正する条例）	全会一致で承認
報告第4号	専決処分事項の報告（平成30年度海南省一般会計補正予算（第10号））	全会一致で承認
報告第5号	専決処分事項の報告（令和元年度海南省同和対策住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号））	全会一致で承認
議案第64号	海南市民交流施設条例	賛成多数で可決
議案第65号	海南省企業立地促進条例	全会一致で可決
議案第66号	海南省税条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
議案第67号	海南省手数料条例の一部を改正する条例	賛成多数で可決
議案第68号	海南省市民交流センター条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
議案第69号	海南省図書館条例の一部を改正する条例	賛成多数で可決
議案第70号	海南省水道事業給水条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
議案第71号	海南省火災予防条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
議案第72号	海南省立海南下津高等学校条例を廃止する条例	全会一致で可決
議案第73号	和解	賛成多数で可決
議案第74号	令和元年度海南省一般会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議案第75号	令和元年度海南省介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議案第76号	新たに生じた土地の確認	全会一致で可決
議案第77号	字の区域の変更	全会一致で可決
議案第78号	海南省固定資産評価員選任の同意	全会一致で同意
議案第79号、第80号	財産の取得	全会一致で可決
諮問第4号～6号	人権擁護委員候補者の推薦	全会一致で同意

議案第64号 関連記事3ページ 議案第65号 関連記事4ページ 議案第66号 法改正に伴い、軽自動車税種別割のグリーン化特例の見直しを行うとともに、所要の改正を行うもの。 議案第67号 政令改正に伴い、特定屋外タンク貯蔵所の設置許可申請に対する審査に係る手数料の額を改定するもの。 議案第68号 関連記事3ページ 議案第69号 海南省児童図書館を廃止し、海南省海南図書館を設置するとともに、所要の改正を行うもの。 議案第70号 法改正により給水装置工事事業者の指定の更新制度が導入されたことに伴い、指定の更新に係る手数料を定めるもの。 議案第71号 省令改正に伴い、住宅用防災警報器等の設置免除の要件を追加するもの。 議案第72号 関連記事2ページ 議案第73号 海南駅東土地区画整理事業地内で発生した事故に係る損害賠償請求事件に関し、和解により円満解決を図るもの。 議案第74号 関連記事5ページ、総額4億122万円の増額補正。 議案第75号 介護報酬改定に伴うシステム改修費118万8,000円の増額補正。 議案第76号 プレジャーボート係留施設整備埋立工事が竣工認可を受けたことにより、新たに生じた土地を確認するもの。 議案第77号 議案第76号に係る新たに生じた土地を海南省冷水字大谷に編入するため、字の区域を変更するもの。 議案第79号、第80号 関連記事4ページ

## 賛否の分かれた議案の表決結果

会派・議員名 議案番号等	日本維新の会		公明党		日本共産党 海南省議会議員団				市政クラブ			市民クラブ			自由クラブ		無所属	結果		
	黒原章至	上村五美	中家悦生	森下貴史	岡義明	橋爪美恵子	瀬藤幸生	和歌真喜子	磯崎誠治	栗本量生	宮本憲治	宮本勝利	川崎一樹	榊原徳昭	米原耕司	片山光生	川口政夫		東方貴子	川端進
報告第2号、議案第64号、議案第67号、議案第69号	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	議長	○	○	○	○	○	×	可決

【○…賛成 ×…反対 —…退席】

※議長は賛否に加わりません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

海南市固定資産評価員に選任された方	岡島 正幸氏
人権擁護委員候補者に推薦された方	榮川 二美子氏、石橋 徳子氏、高城 正光氏

# 討論

## ○議案第64号、第69号

**反対** 市民交流施設について、利用しやすい料金を設定していることは良いと思うが、指定管理となることは反対であり、特に図書館部分については市の直営とすべきだ。

(和歌真喜子 議員)

## ○議案第72号

**賛成** 閉校まであと2年間は生徒募集を行うので、その子どもたちの学びの保障のために、運営の県立化や私立の学校法人などによる引き継ぎを打診するべきではないかと思う。閉校という結果は残念だが、消極的賛成とする。

(和歌真喜子 議員)

## ○議案第72号

**賛成** 海南下津高校は長い間、入学者が定員割れの状態が続いており、閉校はやむを得ず、賛成であるが、5年後に閉校すると決まった学校は、来年以降の入学募集をやめるべきである。

(磯崎誠治 議員)

## 所管事務調査

委員会が所管事務を自主的に取り上げて調査しました。

### ■教育厚生委員会

6月24日に「かいなん学校教育サポート事業(※)について」を案件とし、当局と意見交換しながら調査を行いました。

※かいなん学校教育サポート事業：近年の教育課題にきめ細かく対応し、子供一人一人に適切な指導を行うことにより、学校教育の充実及び安定を図ることを目的に、学校からの申請に基づき非常勤講師を配置する事業

**問** どのような方が非常勤講師として配置されるのか。  
**答** 退職教員など、豊富な知識や経験のある方が配置される。

## ■建設経済委員会

6月24日、室山浄水場の経過と今後について調査しました。室山浄水場は昭和34年7月から給水を開始していることから、老朽化の現状等について現地調査などを行いました。

### 【主な質疑応答】

**問** 導水管更新工事の現状と、室山浄水場の今後の整備予定は。

**答** 紀の川からの導水管の更新工事は、平成26年度から令和5年度までかかる予定で、総事業費は約50億円と大規模なため、導水管の更新完了後に室山浄水場の整備に着手することを検討している。



沈澱池など施設の現状を調査

## 阪井バイパスが開通

海南・海草議会議員連絡協議会が、県に対し長年にわたり早期整備について要望を続け、平成17年から事業が進められてきた国道370号阪井バイパス(延長2.6キロメートル、幅員20メートル)が、6月22日についに供用開始されました。

これにより、慢性的な混雑が解消され、道の両側に歩道が整備されたことで、安全な通行確保が図られます。また、周辺へのアクセス性向上による地域の活性化も期待されます。



# 一般質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問することで、政策の見直しや提言等も行います。

6月定例会では、6月18日、19日の2日間にわたり、9人の議員が一般質問を行いました。



ごまごまが聞きたい!!  
9人が市政を問う

## 1 橋爪 美恵子 (9ページ)

- ・加齢性難聴者への支援について
- ◎本市の水道事業の現状と課題について

## 2 上村 五美 (9ページ)

- ◎人口減少社会における消防の広域化について
- ・市民からの通報アプリの導入について

## 3 東方 貴子 (10ページ)

- ◎コミュニティラジオについて
- ・児童会館について
- ・井澤弥惣兵衛の功績をたたえるために
- ・ひきこもりと家族について
- ・フラワーデモについて

## 4 森下 貴史 (10ページ)

- ◎「おくやみコーナー」の設置について
- ・プラスチックごみについて

## 5 和歌 真喜子 (11ページ)

- ◎公共交通について
- ・子供の交通安全について

## 6 磯崎 誠治 (11ページ)

- ◎自家用自動車を持たない高齢者や自動車運転免許証を返納した高齢者が利用する公共交通機関の費用に市から補助できないか

## 7 川端 進 (12ページ)

- ◎内部統制システムについて
- ・認知症高齢者による徘徊中の事故について
- ・就学援助金「不足」問題について

## 8 岡 義明 (12ページ)

- ・和歌山マリーナシティへのカジノ誘致問題について～人の不幸前提のまちづくりに未来はない～
- ◎自衛官募集に係る対象者名簿提供問題について

## 9 瀬藤 幸生 (13ページ)

- ◎重根メガソーラー発電施設建設について
- ・近年の介護保険制度の現状と65歳問題について

※◎の質問の概要を掲載しています。



橋爪 美恵子 議員

## 水道事業の民営化への考えは

市が継続して運営していきたい

**問** 水道事業の現状と今後の課題は。

**答** 海南水道事業では、基幹施設である導水管の老朽化による更新工事と、海南下津相互連絡管の整備を優先して行っている。下津水道事業では、老朽化の著しい配水管の更新事業を継続して実施している。

**問** 水道法の改正により、広域連携、官民連携が推進される。

**答** 今後は、水道施設を適切に維持管理し、安定的、効率的に水道水を供給することが課題となっている。

広域化への考えは。

**答** 国は、県に令和4年度末までの広域化推進プラン策定を要請した。今後、県のプラン作成のための協議に市町村も入る。広域的連携が本市にとって

経営基盤の強化、水の安定的かつ効率的な供給につながるのかなどを第一に考えて協議に臨みたいと考えている。

**問** 水道民営化に対する考えは。

**答** 今回の水道法の改正については、水道事業の基盤強化を図るための手法の一つとして官民連携の仕組み

が導入されたものと認識している。水道事業は、地域や市民の日常生活に密着した、健康と安全を守るために欠くことのできない重要な事業であることを踏まえ、引き続き市が継続して運営していきたいと考えている。



## 基礎自治体の広域化について

●必要性は認識しているが難しい



上村 五美 議員

**問** 人口減少社会の中、近隣自治体との防の広域化は、消火力強化や大規模災害に対応できる有効な手段と考えるが、本市においてはどうか。

**答** 平成28年から指令業務を共同運用している4消防本部で、広域化の可能性を検討してきた。岩出市と紀の川市が検討を打ち切り、本市と和歌山市と紀美野町でも検討が中断されている。

**問** 中断は、どういう理由からか。

**答** 約1年の検討の結果、広域化直後の本市の経常経費が年間約5500万円増額し、将来さらに増額すると見込まれ、コスト削減を図れないためである。今後広域化を検討する際には、消火力を低下させず、コスト削減も図れるよう関係市町と協議する必要がある。

**問** 今後、あらゆるサービスを自らの自治体が単独で保有、運営するフルセット主義で本市の財政はもつのか。本市財政の現状は直ちに問題はない。

**答** 少子高齢化等に伴う広域化の必要性は十分認識しているが、国や近隣自治体の状況を踏まえると、現状で広域化等を進めるのは難しいと考えている。

**問** 複数の自治体による圏域単位のまちづくりが必要と思うので、今後も人口が減少しても運営できるように政策立案をお願いする。



# コミュニティFM 放送エリア拡大 どう考える

●災害情報発信に使える可能性あり



東方 貴子 議員

**問** 防災行政無線が令和2年にデジタル

化のことだが、費用は

**答** 令和2年度末までの契約の総額で5

億3676万円である。

**問** コミュニティFM「バナナFM」の放送エリア拡大についてどう考えるか。

**答** 災害時の情報発信等に活用できる可能性はあると考える。

**問** デジタル化で無線の難聴地域の解消は、完全に解消するのは難しいと考える。

**答** 暴風雨時の難聴問題はどうか考えるか。

**問** 戸別受信機や防災ラジオの貸与のほか、登録制メール配信などで対応している。

**答** また、電話やファクスへの情報発信サービスの導入も検討している。

**問** それらは停電時に有効か。

**答** アダプター等で電気が必要な電話機

等は、停電時に使用できなくなると考える。

**問** バナナFM視聴のためのラジオと、デジタル対応戸別受信機は幾らか。

**答** バナナFMの緊急告知防災ラジオは8640円と聞く。戸別受信機はデジタル化

工事費に含まれ、約3万7千円である。

**問** 新しくできる市民交流施設にFM局のサテライトスタジオを作れないか。

**答** 工事の設計変更は難しいが、既存施設を活用した運用事例もあり、研究したい。

親しい人を亡くすることはとても悲しいことだが、身近な家族を亡くすと、残された人たちにやらなければならぬことが怒濤のように押し寄せてくるのが実情である。残された遺族が近隣に住んでいない場合など、故人が生前どのようなサービスを受けていたか分からないというケースも増えてきていると思う。

全国的には「おくやみコーナー」を設置し、より市民に寄り添ったワンストップ窓口を設けている自治体が増えている。



森下 貴史 議員

## より市民に寄り添った 窓口を

●他の自治体を研究する中で検討

**問** 高年齢者など、各窓口にへの移動が大変な方もいるので、今いる窓口に各課の窓口担当者が書類を持参し、窓口を移動せずに手続きを行えるような対応もしているが、目的に特化したコーナーの設置については、今後他の自治体の状況を研究する中で検討していきたい。

**問** 今、係員が窓口に

出向いて対応しているというサービスを、

全ての遺族が受けられ

るよう、「おくやみコーナー」を設置すべきではないか。

**答** 「おくやみコーナー」の設置を検討するとともに、現体制での不足部分と工夫すべき点、改善する部分などをさらに検討していきたいと考える。

行政

行政

行政

一般質問



和歌 真喜子 議員

## 運転免許自主返納者への支援は

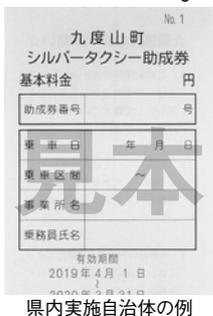
●実現可能な施策の充実に努める

**問** 車がなくても基本的な日常生活が送れる状況が担保されない

**答** 車がなくても基本的な日常生活が送れる状況が担保されないといと免許の返納は促進できない。市内津々浦々まで公共交通網が行き届くのが理想だが、現状は免許を返納したらたちまち生活に支障を来す方がたくさんいる。今ある公共交通だけでなく、デマンドタクシーやタクシーチケットの配布など、あらゆる交通施策を講じて、安心して返納してもらえる環境をつくるのが急務ではないか。

**問** 高齢者による不幸な事故を防ぐため

バスの運行事業者と協議を行う中で、事業者からは、予約制のデマンド方式導入にはコールセンターの人員費や機材費が必要で、他の自治体では、電話のやりとりがわかりづらく予約できない、予約したことを忘れてしまう、という事例もある、と聞く。これらの問題を解決できる方法がないか調査、研究している。高齢者へのタクシーチケットの活用もさまざまな移動サービスの一つとして検討したい。



県内実施自治体の例

にも、市が一丸となり、公共交通の充実に早急に取り組まれない。市長の考えはどうか。

**答** 公共交通網の整備の重要性は十分認識している。市民の移動手段確保のため、実現可能な公共交通施策の充実に努めていく。

## 高齢者の公共交通機関利用に補助は

●市内の公共交通機関を対象に検討



磯崎 誠治 議員

**問** 海南市民が買い物や大病院に行くのはほとんどが和歌山市内である。本市の高齢者が元気に活動できるように、和歌山市内で使える割引バスカードを発行できないか。

ティバスの利用料が半額の50円になるもののみであり、その他は予定していない。高齢者が地域公共交通機関を利用することは、外出や社会参加の機会が増え、生きがいにつながると思われる。しかしながら、利用に対する助成に当たっては、コミュニティバスや民間事業者との関係や、助成方法など一定の基準やルールも必要と考えるので、高齢者の移動サービスについては、関係部署と協議する中で検討していきたい。

**答** 本市の高齢者が和歌山市のバスを100円で利用できるよう助成すると、差額を和歌山市の公共交通機関へ助成することになり、市内の公共交通機関や国、県からの協力が得られなくなることを考えられる。高齢者の移動手段としては市内の公共交通機関を対象に検討したい。

**問** 運転免許証を自主返納した高齢者に、市内で利用できるタクシーの割引券などを配布できないか。

**答** 現時点では、自主返納者に対する助成は、運転経歴証明書を提示すればコミュニティ





川端 進 議員

## 内部統制制度を構築すべきでは

● 県などの運用を確認し研究したい

問

会計検査院のチェックを受ける中央省庁に比べ、地方自治体は内部でリスクを洗い出す仕組みはこれまで不十分とされてきた。架空発注や手当の不正受給、その他情報漏えいや不正会計を防ぐ体制づくりが求められている。このため総務省は地方自治法を改正し、都道府県と政令指定都市が来年4月1日までに内部統制の方針を定め、必要な体制を整備することを義務化した。

本市は法適用外だが、過去不祥事を発生させているだけにこれを傍観できず、法適用市に準じた行政対応が求められている。市は内部統制システムを構築し、体制を整備すべきと考えるが、どうか。

答

本市は今回の改正で整備が義務付けられていないので、職員研修等で職員の意識

を高め、法令順守や業務効率化に取り組みたい。

問

職員が内部統制に関する意識を高めることはもちろん必要だが、それを制度的に保障するのが内部統制制度である。本市の過去の不祥事を教訓に、内部統制制度の構築が必要ではないのか。

答

内部統制制度の構築には、現状の業務の在り方を見直した上で必要な統制を行うことが重要である。今後、来年4月から取り組む都道府県等の運用状況を確認するなど研究、検討を進める。



岡 義明 議員

問

本市の子どもや青年の個人情報（氏名・性別・生年月日・住所）を自衛隊側に提供したことは事実か。

答

平成31年4月24日、自衛隊和歌山地方協力本部有田募集案内所の広報官1名が来庁し、令和2年度に15歳

になる平成16年4月2日生まれから平成17年4月1日生まれまでの日本人住民男子211名分を閲覧させた。また、令和2年度に18歳になる平成13年4月2日生まれから平成14年4月1日生まれまでの日本人住民男子241

## 自衛隊への個人情報提供は問題では

● 法令上問題ないと判断している

名、女子232名、合計473名分の名簿を提供した。なお、名簿については5月8日に返還された。

問

個人情報提供は市長のものでもない。自衛隊のような考えで提供したのか。

答

自衛隊法等の関係法令や個人情報保護条例の規定に基づき実施しており、問題はないものと判断している。

問

自衛隊側への個人情報提供は強制的なものか。

答

強制とは捉えていない。要請に基づ

問

個人情報の提供に係る公表はどのようにするのか。

答

住民基本台帳法に基づき閲覧の公表に合わせ、取りまとめて告示し、ホームページで10月頃公表したいと考えている。





瀬藤 幸生 議員

## メガソーラー建設に係る 現状は

● 県が申請書類を確認後、縦覧開始

**問** 重根メガソーラー  
発電施設建設計画  
について、事業者の認  
定申請手続きの現状は。

**答** 県への認定申請の  
手続きが行われて  
いる段階で、県が申請  
書類の確認を終えた後、  
1か月間の縦覧が開始  
される。

**問** 住民が意見書を提  
出する意義は。

**答** 地域の皆様が抱え  
る不安や要望を、  
県や事業者に届ける手  
段であり、自治会等と  
市の意見、事業者の見  
解を踏まえて認定基準  
に適合するかが判断さ  
れることから、重要な

意義を持つと考える。

**問** 田津原団地の西側  
斜面は崩落寸前の  
状況なのに、進入路の  
工事が計画されている。  
市はどう指導するのか。

**答** 事業者は技術基準  
を順守し、周辺等  
への影響を予測し対策  
をした施工を行う必要  
がある。それらを審査  
し、指導することとなる。

**問** メガソーラー建設  
で、日方川下流域  
で水害の心配はないか。

**答** 日方川を所管する  
県によると、事前  
協議では発電施設建設  
による日方川への影響  
は小さいと判断してい

るとのことである。

**問** 市民の建設反対の  
声を市の意見書に  
どう反映させるのか。

**答** 事業者が誠意を持  
つて事業計画、特  
に土砂災害対応等につ  
いて説明し、住民の合  
意形成に努めるよう、  
県に求めたい。



他市で大雨の影響で崩落した太陽光パネル

### 市議会ホームページ

ホームページでは、市議会の日程、政務活動費の収支報告など議会の情報を掲載しています。また、市議会の会議録を閲覧いただけるほか、本会議等の生中継や録画映像の配信も行っていますので、ぜひご利用ください。

### 市議会だよりへのご意見をお聞かせください

よりよい紙面とするため、議会だよりに関する皆さま方のご意見等お寄せください。

#### 海南市議会事務局

〒642-8501 海南市南赤坂1番地  
TEL 073-483-8700  
FAX 073-483-8703  
Eメール gikaij@city.kainan.lg.jp  
ホームページ <http://www.city.kainan.lg.jp/shigikai/>

### 議会を傍聴しませんか

9月定例会は9月5日(木)に開会する予定です。日程は変更することがありますので、傍聴をご希望の場合は、お手数ですが議会事務局まで日時をお問い合わせください。なお、本会議だけでなく委員会も傍聴していただくことができます。また、傍聴席入口には傍聴者目安箱を設置していますので、議会に関するご意見やご感想をお寄せ下さい。

### ヒアリンググループを設置

傍聴席には、音声聞き取りづらい方にも雑音なく音声をお聞きいただけるよう、ヒアリンググループ(磁気誘導ループ)システムを設置しています。イヤホン型受信機の貸し出しも行っていますので、ご希望の方は議会事務局へお申し出ください。



# 平成30年度 政務活動費収支報告

平成30年4月～平成31年3月

政務活動費は、議員の調査研究その他活動に役立てるために必要な経費の一部として支給されるものです。

交付方法は、交付申請を提出して交付決定を受けた議員に対し、年度分を一括交付します。

(2万円×12カ月)

※支出残額がある場合は市に返還されます。

## ■用途について

政務活動費は、海南市議会政務活動費の交付に関する条例で定められている下記の経費に充てることができません。

なお、用途については、使途基準を定めており、具体的経費の例示や支出に適さない経費の例示を行うとともに、一つの活動が政務活動費の対象となる活動と他の活動との両面を有する場合は、社会通念上認められる按分率により算出した額を計上することとしています。

提出された過去5か年度分の収支報告書は、議会図書室で閲覧できます。

## 支出項目の説明

調 査 研 究 費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究または調査委託に要する経費
研 修 費	議員が研修会を開催するために必要な経費または団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広 報 費	議員活動または市政について住民に報告するために要する経費
広 聴 費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望もしくは意見の聴取または住民相談等の活動に要する経費
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	議員が要請または陳情活動を行うために必要な経費
会 議 費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資 料 作 成 費	議員活動に必要な資料の作成に要する経費
資 料 購 入 費	議員活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
人 件 費	議員活動を補助する職員を雇用する経費
事 務 所 費	議員活動に必要な事務所の設置または管理に要する経費

## 平成30年度政務活動費使途内訳

(単位：円)

氏名	年間 交付額	支 出								返還額
		調 査 研究費	研修費	広報費	広聴費	資 料 作成費	資 料 購入費	事務所費	合計	
橋爪美恵子	240,000			63,719			76,484	107,305	247,508	14,910
瀬藤 幸生	220,000		14,920	27,701			8,424	107,305	158,350	61,650
森下 貴史	220,000						22,542		22,542	197,458
中家 悦生	220,000						221,629		221,629	0
和歌真喜子	220,000		1,000	187,678			10,481	72,517	271,676	0
岡 義明	220,000			27,701			69,907	206,633	304,241	0
黒原 章至	220,000	26,793			90,649	16,470	71,672		205,584	14,416
上村 五美	220,000	29,366		72,186		25,974			127,526	92,474
中西 徹	220,000	25,653					63,306		88,959	131,041
川口 政夫	220,000	25,653		52,545		18,299	61,101	52,689	210,287	9,713
東方 貴子	220,000	83,563	5,850	19,250			49,244	43,589	201,496	18,504
片山 光生	220,000	25,653				104,270	76,834	8,024	214,781	5,219
宮本 憲治	交付申請なし									—
磯崎 誠治	220,000	39,490		86,771		76,285	68,159		270,705	0
栗本 量生	220,000	41,396				65,821	57,038	36,013	200,268	19,732
川端 進	220,000								0	220,000
川崎 一樹	220,000	50,971				29,725	116,421	23,993	221,110	0
米原 耕司	220,000	50,971				24,410	71,720	12,531	159,632	60,368
榊原 徳昭	220,000	50,971					59,830	51,731	162,532	57,468
宮本 勝利	220,000	50,971					51,504		102,475	117,525

(注) 要請・陳情活動費、会議費、人件費については、支出がありませんでした。

平成30年度は議員の改選があり、改選後の任期は5月1日からであるため、改選後の交付額は22万円となります。また、改選前の任期に係る4月分の交付額(2万円)については、改選後の交付額とは別に交付、精算を行うため、年間交付額と支出合計額との差が返還額と一致しない場合があります。

# 小中学生が 議場を見学

4月26日に大野小学校3年生が、5月10日に巽小学校3年生と亀川小学校4年生が社会見学で市役所を訪れ、議場を見学しました。

また、5月20日、21日に亀川中学校2年生の2人が職場体験に訪れ、議会の会議録の校正や、内容を広報用に編集する作業などを体験しました。

2人は、「海南省は自然が豊かで住みやすい」と感じているとのことで、議会の仕組みを学び、「いろんな意見を取り入れてくれるし、請願や陳情などを受け入れてくれるのが良い。」と感想を話してくれました。

## 大野小学校



## 巽小学校



## 亀川小学校



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報委員会
上村	米原	栗本	和歌	東方	森下	
五美	耕司	量生	真喜子	貴子	貴史	

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や時候のあいさつ状などは禁止されております。本紙上をもって、ごあいさつとさせていただきます。  
海南省議会

暑中お見舞い  
申し上げます



春の叙勲  
旭日双光章  
元海南省議会議員 寺脇 寛治氏  
元海南省議会議員 寺脇 寛治氏が、栄えある旭日双光章を受章されました。この栄誉に対し衷心よりお喜びを申し上げます。